

やまきたまち 議会 だより

議会のおと

P 2～3…議会人事決まる

P 8～11…予算審議

P 18～19…6会場で車座集会



山北鉄道公園保存会の熱き思いを受けて
令和の時代も元気に動く（関連記事は裏表紙に）

始動 議会人事決まる

就任のごあいさつ



議長 府川 輝夫

さわやかな風の吹く季節となり、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、令和の時代を迎えあらたなメンバーで議会が始動し、3期目の議長に選出され、新しい時代を切り開いていく重責を痛感しております。議会は、町民を代表する議事機関

として、地域民主主義の発展と町民の福祉の向上及び活力あるまちづくりに果たす役割は、更に大きくなっています。

このため、町民との対話を重んじ、町民参加と情報公開による開かれた議会を築き、町民の負託に応える決意をし、就任のあいさつとさせていただきます。



副議長 児玉 洋一

「令和元年」新しい時代の幕開けとともに、新しい議会がスタートします。今回の議会議員選挙戦にみてもわかるように、町民もこれからの山北町や町議会に対して、新しい形や変化を求めています。

これまでのような慣例にとらわれることなく、議長の補佐役はもちろん、議員定数・報酬・なり手不足・議員の資質向上を含めた更なる議会改革についても、新しい形で町民や議員間で議論していく必要があります。

行政・議会・町民が連携し、活力あるまちづくりに取り組んでまいりますので、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

総務環境常任委員会



委員長 瀬戸 恵津子



副委員長 山崎 政司



委員 瀬戸 顕弘



委員 瀬戸 伸二



委員 児玉 洋一



委員 堀口 恵一



委員 山田 陽子

第2回臨時会
(5月9日開催)

新たなメンバーで

福祉教育常任委員会

委員 鈴木 登志子

委員長 熊澤 友子

副委員長 石田 照子

委員 和田 成功

委員 清水 明

委員 遠藤 和秀

委員 府川 輝夫

議会運営委員会

委員長 石田 照子

副委員長 瀬戸 恵津子

委員 山崎 政司

委員 熊澤 友子

委員 清水 明

委員 児玉 洋一

広報広聴委員会

委員長 鈴木登志子

副委員長 山田 陽子

副委員長 瀬戸 顯弘

(広報分科会)

分科会長 山田 陽子

副分科会長 堀口 恵一

委員 和田 成功

委員 清水 明

委員 児玉 洋一

委員 遠藤 和秀

(広聴分科会)

分科会長 瀬戸 顯弘

副分科会長 瀬戸 伸二

委員 瀬戸 恵津子

委員 山崎 政司

委員 熊澤 友子

委員 石田 照子

監査委員

瀬戸 顯弘

正副議長選挙の結果

議長選挙

府川 輝夫 8票

瀬戸 恵津子 3票

瀬戸 顯弘 2票

石田 照子 1票

※有効投票 14票

副議長選挙

児玉 洋一 7票

瀬戸 恵津子 3票

石田 照子 1票

鈴木登志子 1票

瀬戸 顯弘 1票

※有効投票 13票

無効投票 1票

足柄西部清掃組合 議会議員

府川 輝夫

児玉 洋一

瀬戸 恵津子

第2回臨時会

【専決処分】

5月9日に開催された第2回臨時会で、正副議長を選出、各委員会の構成、一部事務組合議会議員の選出などを行った。

また、町からは補正予算の専決処分の承認と議会の選出の監査委員について提案された。

地方譲与税、地方交付税などの額の確定に伴う補正。

高齢者福祉の向上へ

平成31年第1回定例会を3月1日から13日まで開催しました。

主な議題は、平成31年度一般会計・特別会計予算、条例改正、補正予算、人事案件など27案件を審議しました。予算審議は、議長を除く13名の議員による予算特別委員会を設置し、2日間にわたり白熱した質疑が出され、全て原案どおり可決しました。

一般質問は4人の議員が登壇しました。

(一般質問は12ページから16ページに掲載)

福祉タクシー運行事業

高齢者タクシー利用助成拡大

202万円

高齢者等緊急時一時保護事業

一時保護協定締結事業者への負担金

20万円

(高齢者用)
年度 山北町福祉タクシー助成券つづり

利 用 者 名	生 年 月 日	性別
見 本	大・昭	男・女
	年 月 日	
住所 山北町	電話	

※利用者名に記載された本人のみ利用できます。
 ※紛失しても再発行いたしません。
 ※有効期限 表紙の年度の3月31日まで



平成31年度 予算可決

観光振興と

一般会計 47億3,000万円

一般会計予算は、生産年齢人口の減少に伴う町民税の減額などにより、対前年度33,000千円の減額となりました。
基幹財源である町税の法人税や国有資産等所在市町村交付金・納付金・軽自動車税が増額の見込みではありますが、依然として厳しい財政状況であります。
新年度予算は、観光・土地利用・高齢者福祉に重点をおいた編成が伺えます。

観光振興事業 2,404万円

・ 洒水の滝遊歩道整備へ ・ 丹沢湖湖面活用の拡大 ・ D52 を活用した元気なまちづくり



遊歩道完成イメージ



カヌーや SUP の聖地に



でごにいに妹が誕生!?

31年度 その他の注目事業

- ◆ オリンピック・パラリンピック関連事業・・・・・・・・・・2,000 千円
- ◆ 高速道路通過市町村公共施設整備助成金事業・・・・・・・・・・31,726 千円
- ◆ 都市公園整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・18,959 千円
- ◆ 体育施設整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・110 千円
- ◆ (仮) 山北スマート IC 周辺土地利用構想策定事業・・・・・・・・・・3,960 千円
- ◆ コミュニティスクール運営事業・・・・・・・・・・340 千円

条例改正

○山北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定

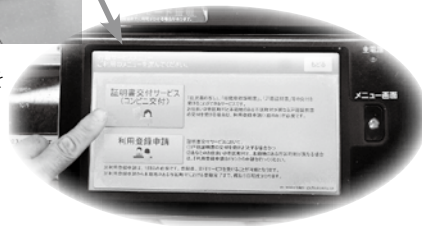
渡辺議員 町内マイナンバー登録者は、役場窓口での手数料は300円、コンビニ交付では300円の

内115円がコンビニ事業者に支払う。割高に思うが今後交渉の考えは。

町民税務課長 登録者数は16%。コンビニ交付は割高感はあるが、全国5400店舗朝6時30分から夜11時まで、印鑑証明や住民票が取得でき、非常に利便性が高い。交渉は全国レベルで行っている状況。



コンビニ交付サービスを10月開始予定



○山北町敬老祝金給付条例の一部を改正する条例の制定

小栗議員 今まで75才以上で毎年3000円頂いていた人が、頂けない年齢がある。対象者の理解を得て、条例改正をするべきではないか。

福祉課長 循環バスの回数券や福祉タクシーの助成券などの対象地域を広げたことで理解をいただいた。

補正予算

○一般会計

歳入歳出それぞれ2747万7千円を減額。

主な歳入は、国庫支出金、県支出金確定見込みによる減額。

主な歳出は、教育費1649万3千円、児童福祉費1428万2千円。

委託料

小栗議員 地籍調査の委託料は当初予算500万円が、今回は約200万円の減額となっている。地籍調査が進まないで減額せずに、できることから調査を進めるべきではないか。

町長 可能かどうか国と調整していきたい。

○特別会計

国民健康保険事業

藤原議員 退職被保険者等にかかわる保険給付費は、今後どのような動きをみせるか、把握しているのか。

保険健康課長 31年度の段階ですべての退職被保険者がいなくなる。31年度の当初予算時には15名残っているが、年度内に65才になり、一般の方へ切り替えていく。

町設置型浄化槽事業

渡辺議員 工事請負費2926万8千円、5基分の内訳は。25人槽はどこに設置されるのか。

上下水道課長 内訳は7人槽3基で、25人槽1基、50人槽1基であるが、25人槽などの設置場所は、確定していないため減額した。



業者委託による地籍調査

人事

○山北町固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了のため、選任提案がされ、全員賛成で同意し再任された。

任期は平成31年4月1日から3年間。

山北町固定資産評価
審査委員会委員

大野 博世 氏

議案等審議の結果

第 1 回臨時会（2 月 13 日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2 月 13 日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	2 月 13 日	可 決 (賛成全員)
専決処分の承認について（平成30年度山北町一般会計補正予算（第 6 号））	2 月 13 日	承 認 (賛成全員)	平成30年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	2 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町一般会計補正予算（第 7 号）	2 月 13 日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町水道事業会計補正予算（第 1 号）	2 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	2 月 13 日	可 決 (賛成全員)			

第 1 回定例会（3 月 1 日～13 日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	3 月 6 日	可 決 (賛成多数)	平成31年度山北町国民健康保険事業特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
山北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3 月 6 日	可 決 (賛成多数)	平成31年度山北町後期高齢者医療特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
山北町税条例の一部を改正する条例の制定について	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	平成31年度山北町災害給付見舞事業特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
山北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	3 月 6 日	可 決 (賛成多数)	平成31年度山北町下水道事業特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
山北町敬老祝金給付条例の一部を改正する条例の制定について	3 月 6 日	可 決 (賛成多数)	平成31年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成多数)
山北町企業等の立地促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	平成31年度山北町山北財産区特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
山北町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	平成31年度山北町共和財産区特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町一般会計補正予算（第 8 号）	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	平成31年度山北町三保財産区特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号）	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	平成31年度山北町介護保険事業特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	平成31年度山北町商品券特別会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	平成31年度山北町水道事業会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算（第 2 号）	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	指定管理者（非公募施設）の指定について	3 月 13 日	可 決 (賛成全員)
平成30年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	3 月 6 日	可 決 (賛成全員)	山北町固定資産評価審査委員会委員の選任について	3 月 13 日	同 意 (賛成全員)
平成31年度山北町一般会計予算	3 月 13 日	可 決 (賛成多数)	平成31年度山北町土地開発公社事業計画及び予算について	3 月 13 日	報告のみ

☆賛成・反対があった議案（第 1 回定例会）

議 案	議員名（議席順）	熊澤友子	藤原浩	井上正文	児玉洋一	原憲司	石田照子	瀬戸顯弘	瀬戸恵津子	鈴木登志子	小栗直治	川村俊治	渡辺良孝	庄野京子
山北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
山北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
山北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
山北町敬老祝金給付条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
平成31年度山北町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
平成31年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算		○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※○は賛成、●は反対を表しています。府川輝夫議長は、採決に加わりません。

第 2 回臨時会（5 月 9 日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
専決処分の承認について（平成30年度山北町一般会計補正予算（第 9 号））	5 月 9 日	承 認 (賛成全員)	松田町外三ヶ町組合議会議員の選挙について	5 月 9 日	指名推選
山北町監査委員の選任について	5 月 9 日	同 意 (賛成全員)			

※山北町監査委員の選任について、瀬戸顯弘議員は当事者のため採決に加われません。

予算審査

務境
総環

高速道路通過市町村

公共施設整備助成金

鳥獣被害

小栗委員 入猟者の呼び込みにより、入猟手数料の増加につながるような工夫はないのか。

環境課長 高齢化によりハンターが減少している。新人ハンターを対象とした研修会など入猟者の拡大に取り組んでいる。

井上委員 シカ柵を開け放しで帰るマナーの悪いハンターもいるので、研修を通じて指導できないか。

環境課長 技術面はもとより、マナーの問題に対しても研修している。

井上委員 もつと捕獲が必要だが、駆除助成金は、なぜ380頭程度なのか。

農林課長 この頭数では足りないと考えている。どこかの段階で補正予算に計上する。



ハンター研修会の様子

渡辺委員 法人町民税が増額となっているがその要因は。

町民税務課長 医療器具製造会社の回復と新東名関連の工事業者により増加している。

ふるさと応援寄付金の見直しは

児玉委員 総務省の通達により返礼率が3割以下になったが今後の見直しは。

町民税増収の考え方は

藤原委員 町税の減少傾向に歯止めをかけるため、小規模事業者に対する補助等を考え地域の活性化を図るべきでは。

商工観光課長 小規模事業者に対する支援は、商工会との連携し様々な支援をしている。

今後、体験観光など、新たな返礼品やポータルサイトの追加をしていく。

一般会計

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業

原委員 オリンピック自転車ロードレースが町内を通

過する千載一遇のチャンスであるが、町振興策につなげる考えは。

町長 丹沢湖の世附地区からコースまでのハイキングツアーなど、面白いアイデアで継続的な観光につなげていきたい。



ロードバイクでオリンピックのまちづくり

丹沢湖の湖面活用は

児玉委員 SUP・カヌー

瀬戸(恵)委員 丹沢荘売却 事業の内訳と今後の運用は。

益は、三保地区の振興策に **商工観光課長** SUP・カ

どのように活用するのか。 **商工観光課長** SUP・カ

商工観光課長 企業団が、 SUP 一式等を購入する。

売却益の900万円を三保 今後、講習会等を開催し、

地域振興のため、環境整備 温泉旅館組合等、地域関係

公社に助成する。地域振興 者の中から指導できる人材

事業として、SUP・カ を育成していきたい。

ヌーに特化した事業を展開 していく。



丹沢湖でSUP（スタンドアップパドルボード）を楽しむ

旧山本邸の活用は

石田委員 旧山本邸は、維

持管理に20万円計上してい

る。収益性のある施設にし

ていくべきではないか。

町長 地域の意見を聞き、

三保地域を優先する活用を

考えているが、あまり利用

されないようであれば別の

利用方法を考えていく。

町内循環バス運行

藤原委員 循環バスは、乗

車が少ないことが多い。公

共交通会議を開催し、他の

公共交通を含め効率的な運

用を考えるべきでは。

企画政策課長 本年度、公

共交通対策に係る庁内ワー

キンググループを立ち上げ

た。その中でスクールバス

空車時の一般利用なども検



建築が進むヒルズタウン丸山

鈴木委員 ヒルズタウン丸

山が分譲され、いくつか住

宅が建ってきた。循環バス

を運行ルートに入れること

で、分譲の促進につながる

のではないか。

企画政策課長 道路運送法

により、新規路線の認可は

難しい。高齢者の交通対策

として別の方法も検討して

いく。

塵芥処理事業

熊澤委員 ゴミ収集が4月

から曜日固定になるが、増

員による費用増加は発生し

ないのか。

環境課長 増員はなく、代

休で対応していくため費用

増加はない。

水道事業

小栗委員 諸渚工業団地や

新東名高速道路宿舍等で水

量が安定しないが、小山町

から水を買増しするなど

安定供給策が必要では。

上下水道課長 川西水源は、

現地を確認したところ水量

が少なく、平成31年度の当

初予算に水源の水量を確保

するための修繕費を計上し

ている。

今後、清水東部簡易水道

など他の簡易水道も含め、

将来的には全体的な統合や

広域化を見据え、検討して

いきたい。

上下水道課長 将来料金改

定を考えなければならない

状況であるが、なるべく先

にできるよう経営改善して

特別会計

下水道事業

藤原委員 平成30年度に下

水道使用料の値上げをした

が、今後の見通しは。

上下水道課長 将来料金改

定を考えなければならない

状況であるが、なるべく先

にできるよう経営改善して

予算審査

福祉
教育

東山北1000計画の
進捗状況は

渡辺委員 東山北1000

計画推進事業の内容は。計

瀬戸(恵)議員 幼稚園保育

料の項目で、岸幼稚園、三

保幼稚園の園児の内訳は。

幼稚園の門戸を広げる考え

はあるか。

学校教育課長 岸は3歳児

5名、4歳児13名、5歳児

17名。三保は5歳児4名の

予定。希望があれば入園で

きる。

一般会計

保育園・幼稚園保育料

石田委員 保育園保育料の

町外受託者の増額要因は。

福祉課長 町外の評判がよ

く、山北町に在勤が転出し

ても通園される方が見込ま

れる。



なかよく遊ぼうね



循環バスでお買い物

福祉タクシーの拡大

を除く山北地区、岸地区、

高松地区を除く向原地区は

5千円分の町内循環バスの

助成券を配布する。

児玉委員 三保地区の増額

と共和・平山瀬戸地区を

6千円とする根拠は。

福祉課長 三保地区は山北

駅周辺まで距離があり、障

がい者のタクシー助成券が

2万4千円なので合わせた。

共和・平山瀬戸地区は駅周

辺に近いので初乗り運賃か

児玉委員 福祉タクシー運

行事業が増額され、対象地

域の拡大というのが内容は。

福祉課長 三保・清水・高

松地区の70歳以上の高齢者

のいる世帯に年間1万8千

円分のタクシー助成券を配

布しているが、三保地区に

ついては2万4千円に増額

し、共和・平山瀬戸地区は、

年間6千円、平山瀬戸地区

ら算出した。

瀬戸(恵)委員 循環バスの

運行本数が少ない宮地地区

は意味がない。タクシー助

成券と町内循環バス券と選

択制にすべきでは。

副町長 バス停まで遠い方

がいるので、今後検討する。

敬老祝いの減額

小栗委員 75歳以上に一律

3000円配付していた敬

老祝金は、米寿等節目の年

の配付に変えた。緩和措置

の配慮はしなかったのか。

町長 福祉タクシーの充実

や町内循環バスの回数券配

布等、高齢者の予算は減ら

さずに新規事業に充当した。

高齢者等緊急時一時保護事業
学校評議員制度から
コミュニティスクール
ル制度へ

児玉委員 新規事業20万円の予算の内容は。

児玉委員 コミュニティス

石田委員 スカイプはどのように活用するのか。

小栗委員 整備事業費の委員会報酬は何の委員会に充てられるのか。

町長 これまで体育施設であつたことや地域の集会所として利用していたこと等を考慮して、鉄道公園の移転先とする考えはない。

福祉課長 協定を結んだ町内介護事業所は6か所あり、見守りが必要な高齢者を一時的に保護する事業である。保護1日1万円を計上している。

教育長 学校評議員制度は、学校運営に関して意見を述べることでしたが、地方教

教育長 通信アプリやWi-Fi環境が整備され、国際交流や学校間交流など、遠隔教育をいち早く取り入れ教育の充実に向け活用したい。

生涯学習課長 山北体育館の代替施設を検討する体育施設建設検討委員会の委員報酬で3回予定されている。

新築祝金・二世帯同居近居奨励金

熊澤委員 前年度より40万円の増額であるが、見込件数は。ヒルズタウン丸山の分譲地もあるがこの金額で対応できるのか。

小栗委員 山北体育館跡地は、鉄道公園の移転先としてもよいのでは。

生涯学習課長 議会、体育協会、地域連合自治会、スポーツ関係団体、保護者関係団体、スポーツ推進委員、行政の代表の10名以内で構成する。

新築祝金・二世帯同居

努力義務となったため、コミュニティスクール制度とする。大きな違いは学校運営を承認することである。

生涯学習課長 山北地区の全自治会には、山北体育館の解体と何らかの代替施設の建設について説明した。民意はこれからも把握し反映していく。

生涯学習課長 山北地区の全自治会には、山北体育館の解体と何らかの代替施設の建設について説明した。民意はこれからも把握し反映していく。

生涯学習課長 山北地区の全自治会には、山北体育館の解体と何らかの代替施設の建設について説明した。民意はこれからも把握し反映していく。

近居奨励金

熊澤委員 前年度より40万円の増額であるが、見込件数は。ヒルズタウン丸山の分譲地もあるがこの金額で対応できるのか。

熊澤委員 前年度より40万円の増額であるが、見込件数は。ヒルズタウン丸山の分譲地もあるがこの金額で対応できるのか。

熊澤委員 前年度より40万円の増額であるが、見込件数は。ヒルズタウン丸山の分譲地もあるがこの金額で対応できるのか。

熊澤委員 前年度より40万円の増額であるが、見込件数は。ヒルズタウン丸山の分譲地もあるがこの金額で対応できるのか。

介護保険事業特別会計

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

熊澤委員 前年度より40万

ズバツと問う！

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、提案や意見を述べ、時には是正を求め、新たな施策方針等を問うものです。

原稿は、質問議員が作成しています。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
13	三保ダム建設時に県と交わした振興整備計画は生かすべき	渡 辺 良 孝
14	森林経営管理の推進で町の活性化推進を	藤 原 浩
15	高すぎる国民健康保険税の軽減を	庄 野 京 子
16	山北町の人口減少対策について	井 上 正 文

問 三保ダム建設時に県と交わした振興整備計画は生かすべき

答 県関係機関と強固な連携を図り推進する



渡辺良孝 議員

三保ダム建設時に県が主体となり、県・町・地域住民三者の合意により「山北町三保地域振興整備計画」を策定している。しかし、行政推進上具体的な位置付けがされていなかった。そこで質問をする。

問 この計画は、単なるハード面の整備ではなく、地域住民の安定した生活について、基本理念となっている。町長の認識はどうか。

答 この計画の基本理念である「三保地域の住民が以前にも増した生活ができるよう、そして都市住民の新しいふるさととして、ダム周辺住民と楽しい交流ができる場をつくること」は、今でも変わることはないことを認識している。

問 この計画の推進には、総合的な管理運営体制としての組織を検討することになっている。この考えはどうか。

答 新たに組織を立ち上げる考えはない。しかし、三保ダム建設時に、このような振興整備計画があったことは再認識し、この整備計画の精神をしっかりと受け継ぎ、県との対応に当たっていく。

問 一般観光ゾーンとして、林道が整備されてきた。丹沢湖周辺の林道は、林業対策だけでなく、イベントを含め地域振興のための林道の解釈で良いか。

答 丹沢湖を周遊可能になるよう県道、林道は整備されている。丹沢湖周辺の林道は、地域・観光振興のために整備されたことには変わりはないと理解している。

問 この計画の推進には、県との話し合いの土俵にのせることが、これからのスタートになる。今年開催される、足柄上地区の県知事との懇談会に議題として上げることがどうか。

答 当町には様々な課題があるが、この件についても議題に上げたいと考えている。

問 三保ダム・丹沢湖は山北町の貴重な財産である。将来に向けて県としっかり交渉を図り、是非、振興整備計画を生かしていくべきと思うが。

答 今後、三保ダム管理事務所や、県内広域水道企業団をはじめ、県関係機関と強固な連携を図り、山北町全体の地域振興につなげていく。



山北町の貴重な財産「三保ダム・丹沢湖」

問 森林経営管理の推進で町の活性化推進を

答 県などと連携し適切に対応していく



藤原 浩 議員

町は、木質バイオマス利用検討に着手する。森林面積92%の町にうってつけの施策だが、それには、木材の安定供給が必要だ。森林は、産業と防災、環境保全、そして保健機能等の大きな役割がある。町の活性化推進にとって重要な問題である、森林経営管理について問う。

問 町には、所有者不明、境界未確定等の民有林地が相当数ある。放置された林地は、産業面、鳥獣被害増加、災害に強い森林づくりに支障を来す。境界確定作業には、かなりの労力と経費がかかる。どのように進める考えか。

答 森林経営管理法では、所有者の意向確認、境界確認を進める事が重要だとし、その実施を市町村に求めているが、それには膨大な経費が必要になる。経費について県の水源環境保全税活用を含め、県と調整していく。

問 町には、森林の現況把握に役立つ地形データ等があまりない。これには航空レーザー測量等が適切だが、多額の費用が必要となる。必要なデータ収集についてどのように考えていくのか。

答 航空レーザー測量は、木材利用のためのデータ活用だけでなく、災害の危険値予測や、林網のルート選定に役立つ等非常に有益である。後期基本計画等に活用検討を位置づける。



境界や所有者の確定は、森林管理の上でますます重要に

問 町の活性化のためには、山を優良資源と考え、産業化、そして保健機能森林としての活用促進のために、多種多様な人材育成を進める必要があると考えるがどうか。

答 利活用促進のため、人材育成の必要を感じている。県森林協会で創設予定の、人材バンク制度活用を含め、様々な団体から意見を聞き、人材育成に取り組んでいく。



林業体験等により、森林管理の必要性を都市住民に知らしめる試みは非常に重要

問 町の森林は、木材価格の大幅下落により、採算が取れず、放置されてきた。町主体で森林所有者、森林組合の三者で業務委託契約を締結し、低コストで高効率な集約化施策を行い、林業の産業化支援を町主導で進めるべきと考えるがどうか。

答 ご提案の三者での施工管理契約については、所有者の負担軽減や、町主導で周辺土地所有者へ意向確認を行う事で、施業集約化につながるメリットが考えられる。今後、県等と連携して適切に対応していく。

問 高すぎる国民健康保険税の軽減を



庄野京子 議員

答 医療費削減に努め、健康づくりに全力で取り組む



協会けんぽの保険料並みに引き下げ、人頭税型の均等割、平等割が廃止されれば、国保税は軽減され、町民に喜ばれる。家計が苦しくて国保料が払えず、短期保険証で病を重くするケースがある。子どもの歯科でそれが出ている。国保の構造的な問題を解決するために、全国知事会では国に対して、1兆円の補助を求めている。

問 町独自の負担軽減の推進拡大を求める。

答 山北町の国民健康保険税は、世帯加入者の所得に応じた「所得割」、加入者の固定資産税額に応じた「資産割」、加入者全員に均等に課税する「均等割」、加入世帯ごとに課税する「平等割」の四つの算定方法となっており、県内においても平等割は横浜市、川崎市以外の市町村で行っており、均等割に至っては、全市町村で徴収するなど、ほとんどの市町村が財源確保の重要な方法として、採用しているため、国民健康保険制度を安定的に維持していくには、全ての加入者や世帯に一定の負担を求めることは、必要であると考えている。

しかし、所得が低い方への配慮は必要であり、効果的に負担を軽減できる良策については、その財源も含めて国の責任において行うべきものと考えている。

また、加入者から納付いただく保険税は限られた財源でもあり、負担を抑制するために特定

健康診査や特定保健指導に力を入れ、医療費の削減に努めるなど、町民の健康づくりに全力で取り組んでいく。



県立足柄上病院の待合室

問 山北町の人口減少対策について



井上正文 議員

答 小山・御殿場への働き口を検討する

山北町議会総務環境常任委員会は、この4年間、人口減少に歯止めをかける取り組みを中心に調査研究を重ねてきた。交通系・Cカードや鳥獣被害等で多少の前進もあるが、多くの課題を残している。

町も人口を減らさない施策の推進に懸命に手を打っているが、交通の便が悪い、働き口がない等が主な理由で人口減少に歯止めがかからず、現在1万人の維持が厳しい状況である。

長野県や山梨県の視察でたくさんの教訓を得た。そして、委員会として、最後の視察先の御殿場アウトレットの情報では、100店舗の増設と宿泊施設で1000人以上の働き手が必要で、三島方面に向かっていくが、慢性的な働き手不足である。また、小山町の内陸フロンティアが満杯になると2300人の働き手が必要になるということである。

このように、県は違うが、山北町の近隣の市町であり距離的にも近いなど好条件がそろっている。そこで御殿場市、小山町にある働き口についての質問をする。

問 交通の便が悪い、近くに働き場所がないという理由で町外に流出してしまう若者をとどめるためにも、働き口を求める誘導策の考えは。

答 山北町内に若者が住み続けるために、企業誘致やふるさと納税の体験型の返礼品等を充実させ、雇用の創出を図る。近隣市町の働き場所など、雇用に関する情報については、今後ともハローワークなど関係機関と連携を図り情報の収集や発信に努める。



100店舗増えるアウトレット

問 山北町はこれまでの仕事先が東京方面だが、距離的にも時間的にも近い西方面へのシフトについての考え方は。

答 これまで、交通の利便性や最低賃金の問題があり、ほとんどの方が県内や東京方面に働き口を求めている。

今後は、御殿場市、小山町と連携して、必要に応じて就職説明会を開催するなど、西方面の雇用情報を町民に提供していく。

問 小山町に出向職員を向ける考えは。

答 本町から片側の出向は難しいが、職員相互に派遣する制度の活用は、お互いにメリットがあるので、両町で協議検討していければと考えている。



企業誘致の準備が進む小山町内陸フロンティア



視察・研修 Report



小山町との連携で雇用機会拡大を

総務環境常任委員会視察報告

平成31年2月7日



人口減少をいかに止められるかについて、総務環境常任委員会では調査研究をしてきました。研究テーマの一つとして町内に就労の場が少ないこと等を掲げてきました。

今回、近隣の小山町が進めている大規模開発と御殿場市のプレミアムアウト

レットの拡張工事を視察し、小山町役場を訪れ内陸フロンティアについての説明を受けました。

大規模工業団地の工事現場と、太陽光発電事業施設、

次世代施設園芸拠点（株）

サンファーム富士小山のア

メーラトマトの取り組み、

静東原木流通センター、木

質バイオマス発電所、優良

田園住宅事業等を視察しま

した。

この工業団地が完成すると2300人の労働力が必要となります。

また、アウトレットモールでも様々な職種で労働力が求められます。現在三島市や伊豆方面の労働力に

頼っていますが、今後は山北、松田、開成町等を視野に1000人規模の労働力を確保していきたいと思っています。

委員会では、交通の不便

さと働き口がない事を理由

に町から転出する若者を食

い止めるため、小山町等と

の連携を絶やすことがない

よう今後に繋げていきます。

住民投票と議会の関わりについて学ぶ

足柄上郡議会議員研修会

平成31年2月19日

上郡議会議員研修会、今回のテーマは、「自治基本条例と議会基本条例について」神奈川県川町村議会議長会・沼田

卓参事を講師に、大井町役場会議室で開催されました。

自治基本条例には、情報共有、参加、協働、3つの基本

原則があり、参加の原則に基づく重要な制度のひとつとなる、住民投票制度と議会の

かわりについて、川崎市等の

例を題材にお話しいただきました。

また、

県内町村の住民投票

の規定状況、議会基本条例に

基づく住民参加の推進で、議

会と住民参加の動向について

もご説明いただきました。

住民投票制度は、議会や首



長の権限を制限することになるなどの理由から、通常は諮問型とされています。住民の意思反映が議会に委ねられていることを鑑み、我々は住民にとって適切な選択になるよう議会を運営すべきと感じました。

それぞれの 声 を...

今回で2回目となる車座集会を開催しました



三保会場（18人）

観光客から入場料や駐車料金を徴収し、地元に還元しては。

新東名スマートIC開設に併せ、観光回遊性として、小田原甲府線延伸を町の基本構想に入れるべき。

鳥獣被害は、早期の対策を。

買い物難民のために移動販売車等の検討を。

旧山本邸の有効活用を。



清水会場（15人）

浚渫しゅんせつの工事車両等は、秦野峠林道を通らせたかどうか。

新東名工事終了後の旧清水小・中学校跡地の活用は。

大規模開発や企業誘致を積極的に進める小山町との連携強化をはかつては。

簡保跡地は景観が良い。温泉を利用した活用を考えるべき。



山北会場（9人）

高齢化による交通弱者に対し、公共交通機関整備など早期な対応を。

山北体育館跡地は、今後の利活用について、自治会や町民から要望を聞くべき。

ジビエ料理は、町内飲食店で取り入れてみては。

適正な自治会数の再編成などが必要では。

車座集会の詳細は、議会内ホームページでも閲覧できます

議会報告会
&
車座集会

6 会場から

2月4日～15日まで町内6会場を回り議会報告会と、

共和会場（13人）

山や耕作放棄地を貸し出せるシステム作りを。

町が設置したシカ柵は、高齢者には管理できない。

高松山や簡保跡地に、足湯施設などの整備を進めては。

山北駅や東山北駅のICカード読み取り機周辺に屋根の設置を。



岸会場（16人）

鳥獣被害対策は、足柄上郡広域連携で取り組むべき。

近所に空き家があると、不審者等不安があるので対策を。

災害時、状況次第では現在の避難所まで辿り着けない。避難所や防災備蓄品等の見直しを。

自治会役員もなり手不足。役割分担を整理し、負担軽減を図るべき。



向原会場（18人）

行政、町民、JAが協力・連携して、休耕地対策を進めるべき。

東山北駅前ロータリー整備もいいが、もつと企業誘致を進めるべき。

高松山にもヤマビル被害がある。薬剤噴霧ではなく、効果的な対策を。

共和福祉バスのような、地域を巡回し、買い物や通院ができるシステムが必要では。



いただいた多くの貴重なご意見は、議会内で議論を進めます

活きいきひろば

D 52 の整備は時代を超えて

山北鉄道公園保存会

会長 曾我 彬弘さん



D 52 (デゴニ) の愛称で親しまれ日本最大の貨物機関車として、電化になった御殿場線を「さよなら列車」で最後に走ったのが、思い出多い機関車 D 5270 でした。

そして、機関車の貸与が決まり、町としてもこれに呼応し、加えて、町内有志の寄付も多く、山北鉄友会、OB 会などのメンバーによる労力奉仕は専門家はだしの手並みを見せて、見事に昭和 45 年 7 月 21 日、鉄道公園に保存され開園しました。

保存会は OB 20 名、NPO 2 名、特別会員 3 名で、年 4 回機関車清掃を行っています。特に高さが約 4 m もあるので、車体に乗り軽油を全体に塗り汽笛弁をみがく時など命綱を付けていても足がふるえて作業しています。

その結果、「D 52 奇跡の復活」事業を委託された恒松さんが、D 52 の保存状態について清掃が行き届いていて極上ですと言っていました。川村小学校の児童の見学では OB が機関車の内容などの説明をしています。

議会の傍聴においでください

第 2 回定例会(予定) **6 月 14 日(金)~**

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**

議会ホームページ

山北町ホームページ

→ 町議会のアイコンをクリック



編集後記



新緑がまぶしく、サンショウバラやミズキの花も咲きほころぶ色鮮やかな 5 月、令和元年がスタートしたこの記念すべき時に我々山北町議会も新たなメンバーで始動いたしました。新人議員が半分を占め不慣れなところもあるかと思えます。様々な方々にご指導いただき、皆様の声に耳を傾け、議会活動に力を注いでまいります。

また、広報分科会のメンバーも一新いたしました。これまで以上に、議会でどんなことが行われているかを町民の皆様に見やすく、分かりやすくお伝えできるよう紙面づくりに取り組んでまいります。

そして、読んでいただいた皆様の声もお聞きしたいと思いますので、ご意見、ご感想をお寄せくださいますようお願い致します。

(山田陽子)

広報分科会

会長 山田 陽子

副会長 堀口 恵一

委員 和田 成功

清水 明

児玉 洋一

遠藤 和秀

